

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121112
事務事業名	八坂支所一般管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

**事業の概要**  
八坂支所庁舎等の保守管理と一般事務費

**事業の目的**  
施設の定期的な保守管理により、安全で快適な施設環境を保つ。  
一般事務費の管理を行い、事務費の削減に努める。

**事業内容**  

- ・庁舎の保守管理のため、電気、浄化槽、エレベーター、消防施設、自動ドアなどの法定定期点検等を業者に委託実施し、安全で安定した設備管理を行うとともに、故障設備等の早期発見に努める。また、夜間宿直の廃止に伴う警備保障業務を委託し防犯管理を行なっている。
- ・文書配達員(臨時職員)を雇用し文書配達を行うことで、本庁との文書交換の効率化と郵送料の削減に努めている。

事業費 財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	総事業費(決算額)	14,067 千円	12,458 千円	13,608 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	14,067 千円	12,458 千円	13,608 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②					-	-	
	③					-	-	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	① 電気保安業務点検委託	回/年	12	12	12	12	100.0%	12
	② 浄化槽点検業務委託	回/年	1	1	1	1	100.0%	1
	③ エレベーター点検業務委託	回/年	1	1	12	12	100.0%	12
2. 数値で表せない効果	(指標 ) 定期的な定期点検、メンテナンス等により、安全、衛生的な施設ができています。							

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)  
 ・定期的な経常経費であるため比較が難しい。事業費は、施設保守のための修繕費の増減等により変動している。  
 ・エレベーターの点検は、設置から15年が経過していることから、年1回の法定点検から遠隔監視装置による毎月点検及び年4回の定期点検を実施するよう変更し、より安全性を高めた。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	3	2	2	3	2	3
	今後の方向性	方向性 継続 評価点合計 15 / 18 法律に準拠した点検の方法、回数、また施設や設備の老朽化の状況等を判断しながら、適正で計画的な保守点検を実施し、安全かつ衛生的な施設の運営管理に努めていく。					

事務事業評価表

担当課	総務部	部	八坂支所	課	総務係	係	事務事業No.	121113			
事務事業名	八坂支所車両管理費					会計	一般会計				
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち					款	2	項	1	目	11
施策目標											
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	八坂支所で管理している公用車の定期点検、車検整備等の維持管理											
事業の目的	公用車の定期点検の実施により、安全な運行管理を行う。											
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>八坂支所管理の公用車の共済保険料と車検整備及び定期点検整備の実施。</li> <li>塩害で腐食した車体の板金整備による耐用年数の延長</li> <li>公用車のタイヤ交換</li> </ul>											
事業費	年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			
	総事業費（決算額）		496千円			644千円			991千円			
	財源内訳	国庫支出金		千円			千円			千円		
		県支出金		千円			千円			千円		
		起債		千円			千円			千円		
		その他財源		千円			千円			千円		
		一般財源		496千円			644千円			991千円		
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値	達成率	次年度目標値			
	①						H25	(%)	(H26)			
	②						-	-				
	③						-	-				
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値	達成率	次年度目標値			
	① 支所公用車		台	13	13	13	13	100.0%	13			
	②											
	③											
2. 数値で表せない効果		(指標 ) 定期点検、車検により、車両の安全が確保されている。										
<p>【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共済費、車検代、点検料は同額であるが、車両の消耗部品やタイヤの摩耗状況等により、事業費に変動がある。</li> <li>塩カル被害などに車体の錆発生と腐蝕部に対して板金修理を行い耐用年数を向上させた。</li> </ul>												

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
		3	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続						
	評価点合計	<ul style="list-style-type: none"> <li>車検は、毎回見積書を徴収し業者を決定しているが、過去の修繕履歴が確認しにくい状況があるため、整備業者の選定方法等について検討する必要がある。</li> <li>走行距離は少ないが、年数の経過した車両が増加傾向にある。塩カル対策の板金修理やこまめな洗車等により、耐用年数の向上に努力する。</li> </ul>					
	15	18					

事務事業評価表

担当課	総務部	部	八坂支所	課	総務係	係	事務事業No.	121115			
事務事業名	地域振興事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち					款	2	項	1	目	11
施策目標	地域の一体感の早期確立										
後期計画掲載頁	42		頁	個別計画							頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり委員会の開催により、市からの諮問に答申を行うとともに、地区内の課題等について市に提言を行う。</li> <li>地域振興車両の運行により、交通弱者等の交通を確保する。</li> <li>市民バスふれあい号のバス停留所などのインフラ整備による市民サービスの向上を図る。</li> <li>地域振興団体等への地域活動を支援する。</li> </ul>
-------	---

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>合併後の一体感の早期確立と、活気と特色ある地域づくりへの支援を行なう。</li> <li>地域振興バスの運行により、交通弱者の交通確保を行う。</li> <li>バス待合所の設置により、バス利用の利便性を向上させる。</li> <li>地域の芸術文化の保存と伝承を推進する。</li> </ul>
-------	---

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地区内の振興対策、諸問題等への対応を検討した。</li> <li>診療所の送迎診療バス、山手線スクールバス、敬老会等の行事の送迎臨時バスの運行を行い、交通弱者である高齢者の足の確保を図った。</li> <li>八坂地域づくり協議会、八坂音頭保存会、青竜太鼓保存会、You・Meクラブ(結婚対策事業)への補助金交付により、地域振興と特色ある地域活動の推進、芸術文化の保存伝承活動の支援を行った。</li> </ul>
------	--

事業費	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	総事業費(決算額)		5,485千円	6,825千円	8,856千円		
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円		
		県支出金	千円	千円	千円		
		起債	千円	千円	千円		
		その他財源	千円	千円	千円		
		一般財源	5,485千円	6,825千円	8,856千円		

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	地域づくり委員会	回	3	3	2	3	66.7%	3
	②	送迎診療	回	82	82	83	83	100.0%	83
	③	山手線スクールバス	回	102	87	88	90	97.8%	90

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	バス停留所設置	箇所	-	-	1	1	100.0%	
	②						-	-	
	③						-	-	

2. 数値で表せない効果  
 (指標 ) 送迎バスの利用人数は、年度ごとに異なるため比較ができないが、送迎診療により高齢者や山間部の人達の医療体制が確保されている。また、山手線スクールバスは、熊の出発時にも運行を行い児童生徒の安全な通学の確保が来ている。青竜太鼓や八坂音頭の保存会は、地区内外のイベント等において、地区や市のイメージアップ、PRに貢献している。

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	一部重複	普通	改善の余地あり
	点数	3	3	3	2	2	2
	今後の方向性	方向性 やり方改善 評価点合計 15 / 18 担当部課等のコメント(事業改善案等) 結婚対策事業については、会員の高齢化と参加者確保に苦慮している現状があることから、組織体制や運営方法の見直し、市の婚活事業への統合などを含め見直しを図る。					

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	121118
事務事業名	定住促進事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画	過疎計画			頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等			

**事業の概要**  
 若者の流失等、定住人口が減少する中で定住対策は急務な状況にある。特に集落機能の低下が進んでいる地域が見受けられ、集落の活性化が必要な状況にあることから、拠点集落内に住宅を建設し、定住を促進しながら集落機能の維持、強化を図る。

**事業の目的**  
 人口の減少は、地域社会はもとより過疎地域においては、様々な弊害をおよぼしている。特に集落機能が低下し、限界集落の恐れも見受けられる集落もあることから、定住促進住宅を建設し、若者の定住、集落機能の維持強化を図っていく。

**事業内容**

- 定住促進住宅を拠点となる集落内に建設する。
- H25年 造成1箇所 用地買収 1箇所
- 平成26年3棟、27年3棟 計6棟建設

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	千円	千円	357 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	357 千円	8,103 千円

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	用地測量	箇所		2	1	1	100.0%	1
②	用地造成	箇所			1	1	100.0%	2
③	定住促進住宅建設	棟						3
	2. 数値で表せない効果 (指標 ) H26年度建設予定地の造成が完了した。							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続	計画的に定住促進住宅を建設し、入居者についても定住促進係と連携を図り進めていく。			
	評価点合計	16 / 18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂課	産業建設係	事務事業No.	161316
事務事業名	八坂堆肥センター運営事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	59	頁	個別計画		頁
事業期間	平成19年	～	平成25年	根拠法令・要綱等	

**事業の概要**  
 地域資源循環活用施設として、八坂地区畑作農家及び一般市民へ良質な堆肥を供給する。

**事業の目的**  
 農業者へ良質な堆肥の供給を図るため、大北管内の牛ふん堆肥原材料を購入し、良質な堆肥を製造し供給する。

**事業内容**  
 地域資源循環活用施設として、一般市民及び地区の畑作農家へ良質な堆肥を供給する。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	1,481 千円	2,043 千円	1,090 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	954 千円	858 千円	千円	
	一般財源	527 千円	1,185 千円	1,090 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	堆肥の製造販売	回	2	2	1	1	100.0%	
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	堆肥の販売量	t	155	140	89	80	111.3%	
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標 )								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）  
 旧八坂村時代から事業を行っており、合併後、市の広報等で軽トラ販売の日などを掲載することにより、八坂地域以外の市内の住民の購入が年々増加している。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	一部重複	普通
点数	3	2	2	2	2	2
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	生活環境課に所管を移し、平成26年2月より八坂堆肥センター施設を活用し指定管理者制度の導入による生ごみ堆肥化施設として稼働している。又、既存の牛糞堆肥も継続している。 評価点合計 13 / 18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	17138
事務事業名	八坂観光施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代のニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

**事業の概要**  
 八坂地区の観光施設は、鷹狩山の展望施設やさざなみ等の施設がある。各施設とも経年劣化により、施設や設備、備品などが更新時期を迎えている状況となっている。指定管理者や施設管理受託者等が健全かつ適正していくためにも、老朽化した箇所については、計画的に修繕を行う。

**事業の目的**  
 施設及び設備、備品の計画的な修繕を行うことで適正な維持管理を行い、施設利用者が快適に利用できるよう配慮し利用者の利便性を図っていく。

**事業内容**  
 各施設とも経年劣化により、施設や設備、備品などが更新時期を迎えている状況となっていることから、老朽化した箇所については、計画的に修繕を行う。また、指定管理施設については、基本協定に基づき協議し老朽化した箇所については、計画的に修繕を行い適正な管理運営を図る。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	6,597 千円	21,790 千円	4,993 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	6,597 千円	21,790 千円	4,993 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

2. 数値で表せない効果  
 （指標 ） 指定管理者や施設管理受託者等と協議し、施設及び備品の修理を行うことで、施設利用者が快適に利用できるよう配慮し、利用者の利便性を図る。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）  
 各施設は、建設から10年以上経過しており、経年劣化等による修繕箇所が多くみられるようになり、突発的な緊急修繕も必要となっている。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	3

評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	H25年度中は休業していた、たかがり山展望施設については、平成26年度より新たな指定管理者で、再スタートしたところである。各施設とも、定期的に施設の管理状況や清掃状況、電気施設等の点検報告書をチェックすることなどで、施設の管理体制を強化し計画的な施設修繕を行う。				
	評価点合計	16	18				

## 事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	171318
事務事業名	八坂温泉宿泊施設管理費					会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち					款	7 項 1 目 3
施策目標	時代のニーズに対応した観光推進						
後期計画登載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要	温泉宿泊施設事業特別会計への繰出金								
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日香荘の施設設備の修繕</li> <li>・送迎用バスのリース</li> <li>・室内ゲートボール場の維持管理</li> </ul>								
事業内容	温泉宿泊施設事業特別会計への繰出金								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		千円		4,743 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		0 千円		0 千円		4,743 千円			
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
	③					-	-		
	2. 数値で表せない効果		(指標 )						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続					
	評価点合計	18	/ 18				

### 事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	18513
事務事業名	八坂住宅管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	8	項 5 目 1
施策目標	移り住むやさしい受け入れる町						
後期計画登載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	定住促進住宅の維持管理								
事業の目的	定住促進ビジョンに合わせた「子育て世代」や「若者世代」をメインターゲットに地域への定住促進と地域活性化を図る。								
事業内容	明野団地（平成9年度建設 木造平屋建 2戸） 明野集合住宅（平成11年度建設 低層耐火構造 1棟4戸） 野平団地（平成9年度建設 簡易耐火構造平屋建 2戸） // （平成11年度建設 木造平屋建 2戸） // （平成12年度建設 木造平屋建 2戸） // （平成13年度建設 木造平屋建 2戸） 大門団地（平成11年度建設 木造平屋建 1戸） // （平成12年度建設 木造平屋建 1戸）								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		千円		650 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		0 千円		0 千円		650 千円			
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	定住促進住宅	戸	16	16	16	100.0%	19	
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
	③					-	-		
	2. 数値で表せない効果		(指標 )						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由									

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続	平成25年度より条例改正によりインターターゲットである子育て世代の皆さんが入居しやすくなる様入居条件の変更や家賃の減額を行い定住促進を図っている。又、建設後8年か以上経過した住宅については、希望により譲渡も出来る事から入居者と協議している。			
	評価点合計	17	/ 18			

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	751111
事務事業名	八坂温泉宿泊施設管理費				会計	温泉宿泊施設事業特別会	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	項	目
施策目標	時代のニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

**事業の概要**  
 明日香荘は建設後10年以上経過していることから、経年劣化による施設、設備等の修繕が必要となっている。指定管理者と協議するなかで計画的に行っていく。

**事業の目的**  
 明日香荘の適正な管理を行うことにより、利用者の利便性を図る。

**事業内容**  
 施設及び設備の修繕については、指定管理者と協議する中で計画的に行い、明日香荘の適正な管理運営を進める。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	千円	30,710 千円	4,742 千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	千円	30,710 千円	4,742 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②					-	-	
	③					-	-	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②					-	-	
	③					-	-	
2. 数値で表せない効果 (指標 )								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）  
 明日香荘は、指定管理施設として管理運営されているが、施設は建設後10年以上経過していることから経年劣化による修繕箇所も多くみられ、突発的な緊急修繕も必要になっている。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	2	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	協定書にもとづく施設及び設備の保守管理・清掃業務等の調査を行い、施設管理状況の点検、機械器具類の状況等を確認するとともに、計画的な修繕を行い施設の維持管理を図っていく。					
	評価点合計						